

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	鳥取県東部広域行政管理局可処分施設建設工事	階数	地上5F 地下1F
建設地	鳥取県鳥取市河原町山手925番地他	構造	S造一部SRC造,RC造
用途地域	下水処理区域内	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2022年1月26日
敷地面積	43,408 m ²	作成者	伊藤俊徳
建築面積	5,793 m ²	確認日	2022年1月27日
延床面積	11,017 m ²	確認者	坂元玲子



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.2 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 環境品質 G 環境負荷 L 41	標準計算 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★ ①参照値 100% ②建築物の取組み 82% ③上記+②以外の 82% ④上記+ 82% 46 (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境 (敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9 音環境 2.9 温熱環境 2.7 光・視環境 2.7 空気質環境 3.4	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0 機能性 2.5 耐用性 3.1 対応性 3.7	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 3.1 生物環境 3.0 まちなみ 3.0 地域性・ 3.6
LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5 建物外皮の 3.0 自然エネ 4.0 設備システ 3.8 効率的 2.0	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3 水資源 4.0 非再生材料の 2.6 汚染物質 4.0	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2 地球温暖化 3.7 地域環境 2.9 周辺環境 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 雨水・雑排水等を利用することで水資源に配慮し、工場棟では、トップライトを多数設置することで、太陽光を照明として活用している。 また階高の他に空間の形状・自由さや荷重においても高いゆとり性を持って計画している為、建物の更新性・対応性にも柔軟に対応できるようにしている。	その他	
Q1 室内環境 遮音性の高い建物となっている。	Q2 サービス性能 階高にゆとりのある建物となっている。	Q3 室外環境 (敷地内) 地域性への配慮、快適性の向上等に向けて取り組んでいる。
LR1 エネルギー LED照明を採用。	LR2 資源・マテリアル 節水型器具を採用している。	LR3 敷地外環境 駐輪場・駐車場の設置などにより、交通負荷に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される